

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	WALLESS ACADEMY		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 17日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 1月 17日		2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別の支援により、子どもが安心して通える、親身に接してくれる、その日の支援内容について丁寧に教えてくれるなど好意的な意見が多く聞かれた。	事業所全体で個別支援に取り組んでおり、マンツーマンで関わることで丁寧な支援ができる。また、各事業所毎に随時話し合いの機会が設けられており、支援の方向性について常に軌道修正している。	居心地の良い雰囲気は保てるよう、利用者目線で適宜環境調整を心がける。
2	個別の相談だけでなく、学校での会議の場にも積極的に参加し、福祉からの意見を関係機関と情報共有することで、保護者の安心につながっている。	相談員との連携を密に図り、個別支援から見える課題を共有したり、会議開催を提案することを管理者、支援員で共通認識している。また、保育所等訪問支援を併用利用することで、学校で必要な支援配慮等について、学校の立場を考えながら支援内容について検討することができる。	担当の指導員もモニタリングや学校の会議等に参加する機会を設け、スタッフの意識を高めながら、背景を知った上での質の高い支援を目指していく。
3	先を見据えた支援として、現在の課題だけでなく、進学先なども相談に乗ることで、保護者の安心につながっている。	高校とも連携を図り、情報を収集したり、案内等について事業所内に掲示することで、利用者だけでなくスタッフの知見も高まっている。	進学先については学校とご家族でご相談いただきながら、福祉側の助言を今後もお伝えし、保護者利用者の安心に繋げていく。また、就労移行支援との連携や、就労に向けて必要なことなど研修等の機会を検討し、スタッフの知見を高めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	読み書きに対するアプローチが少ない点。	テストの点数や受験対策等、福祉では不可能な学力向上支援は、民間の家庭教師を設けており、必要な方には随時提案させていただいている。LD支援については、病院等で受けられる検査結果の数値の有無で支援の見立てが大幅に変わる。スタッフの研修機会は随時設けているが、個々の知識やスキルのばらつきがある。学校と情報共有していきたいが、学校側のそれらの知識スキルや体制が整っていないと感じる。	学校等への研修の機会を設け、教育側と情報共有する機会を今年度1回実施。希望を募り今後も継続したい。また、WISCについても実施しており、必要な方に適宜声かけをしていく。事業所内の研修も外部講師を招くなど継続する予定。
2	保護者同士の交流の機会やペアトレを開催しているが、都合がつかず参加できない方がいる。単発で受けられる研修等を希望する声がある。	ペアトレは5回続けて受講する内容のため、負担が高い。	ペアトレについては参加しやすいよう、1回で完結するような内容を検討していく。また希望する方には優先的に個別でお声掛けしていく。ペアトレ以外でも保護者同士で話せる機会や研修等、1回で完結する内容を今後も検討していく。
3	避難訓練など災害時における対応について、契約時の説明と施設内の掲示にて周知しているが、訓練はなされていない。	利用者がいる時間での災害における対応方法について、予測でのマニュアル作成にとどまっている。	SNSでの訓練実施について発信していることもあり、利用者参加では実施していないが、実施していることはご存知の方もいらっしゃる。今後は限定し、実際に利用者、保護者を交えた避難訓練を今後検討していく。また、他の施設の実情について知る機会があれば研修等に参加する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 WALLESS ACADEMY

公表日 2026年 3月 25日

利用児童数 150

回収数 93

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	87	4	0	2	待合室の雰囲気落ち着いていて、他の 子と交流しやすい場所になっている。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	84	1	0	8		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	79	8	0	6		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	91	2	0	0	待合室が季節に合わせた楽しい空間に なっていてよいと思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	87	3	0	3	読み書き (LD) に対してアプローチが 少ない。 子供の話を聞いていると、しっかり話し を聞いてくれる様子が伺える。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	84	4	0	5		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	91	1	0	1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	88	1	0	4		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	91	1	0	0	・子供があきないよう、様々なボード ゲームや遊びの工夫がされています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	79	4	1	9		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	26	8	25	34	個別療育なので、なくても良いと思う。	
保	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	90	2	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	87	3	0	2	支援経過報告書で毎回の子供の様子や支 援内容等を詳しく教えて頂けてとてもあ りがたいです。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	76	6	1	10	単発で参加できる研修会等がもっとある とありがたいです。(全回おだたと参加し づらいので)	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	82	8	0	3		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	86	5	0	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	88	2	0	3		

護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	39	7	7	40	兄弟がいないので支援があるのか聞いたことがないです。 兄弟の中で「自分だけの場所」と特別感を持っているので、できるだけ連れて行かないようにしていました。我が家の場合は兄弟支援はあまり重要でないと思います。 単発で参加できる研修会等がもっとあるとありがたいです。（全〇回だと参加しづらいので） 兄弟の交流は不明	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	83	4	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	82	6	1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	85	3	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	87	0	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	54	4	0	32		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	36	8	0	45	子供からはそのような訓練をしたとは聞いていません。聞いていないだけで実施していただいていたらすみません。 月2回の利用のため訓練が行われているのかわかりません。LINEを見過ぎていたらすみません。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	62	7	0	20		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	56	7	1	26	そのような機会がなかった。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	90	0	0	0	最近行き渋りがなくなって、スムーズに準備してくれるようになったので楽しくなってきたのではないかと思います。 どの先生でも、安心していきます。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	83	5	1	1	最近学校の友達>ウォレスになりました。（ウォレスが嫌いになった訳ではありません） いつもウォレスに行く時は、自分から時間を氣にかけて「さあ行くか！」とスイッチが入る様子が嬉しく思います。 非常に楽しみにしています。 通所は嫌がることなく、本人も楽しみにしています。 1対1でゆっくり関わって頂けるのが本心にとっていいようです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	86	3	1	0	いつも子供の想いに寄り添ってくださり感謝いたします。温かいご支援を本当にありがとうございました。 ガクブレに通っているので、共通の先生に相談できるのがありがたいです。 いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		WALLESS ACADEMY				公表日	2026年 3月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	個室が適切な広さである		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	2	職員の欠員が出ると大変な時がある 一日の担当人数の割り振りを平均的になるように部署内で相談できる。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	不十分な点などを話し合い改善している努力があると思う。 目に見える形で注意喚起などはある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	支援室の床や待合室のカーペット等古いので替えた方がいいかも 一部経年劣化に対する対応が必要だと思われる。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	4	階層ごとに分かれてPDCAサイクルが回せているように感じる。 個々による 一週間ごとに話し合う機会がある。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	話内の中で総意が得られると、反映されやすい環境であると思う。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	7			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	望めば、個人でも研修機会が与えられるのはありがたい。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	2	ソフトで一括管理して見れる記録の中で情報が共有管理されていると感じる。 独自ツールを共通に使用している		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	支援の方向性は、話し合いで決められている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	複数の担当者の介入、話し合いがされている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	7	集団活動はない、ゲーム等での交流はあり個別のみ	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	3		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	7	気になった点のみ共有はしている。 毎日個々の支援後には行っていない。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	11		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	その日行った支援を保護者の方に伝えてい	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	4		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0	公式LINEを用いて、情報発信はなされているように感じる。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	11		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1	家族にまでは周知できていない。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	4	食事の提供はない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	社内研修等で、対応しているように感じる。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	1			